



シラバス参照

講義名	プログラミングB		
(副題)			
開講責任部署	太宰府		
講義開講時期	秋学期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1時限
校地	太宰府		
科目分類名			
科目分野名			
対象学科・年次	経営学科 ・ 2年～4年次		
必須/選択			

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 藤岡 豊三雄	指定なし

学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Webプログラミングの概要、支える技術を説明できる。 ・ 基本的な、HTMLファイル・CSSファイルの作成と実行ができる。 ・ エディタ及びブラウザの開発環境を利用できる。 ・ 様々なサンプルプログラムのコードを読み、変数や制御文より組み立てられた「アルゴリズム」を理解できる。 ・ JavaScript言語により、WebブラウザのオブジェクトやHTML要素を操作するための基本的な「コード」を書くことができる。これにより、ビジュアルなWebページ (HTML+CSS+JavaScriptにより) を作成することができる。
授業概要 (教育目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在ウェブのフロントエンドではHTML+CSS+JavaScriptが主流の技術です。本講義では、このWeb関係開発に必須であるJavaScript言語を用いて行います。JavaScriptはオブジェクト指向言語の1つです。ブラウザ上で動きのあるWebページや対話的な要素を含むビジュアルなWebページを実現するために利用されます。 ・ プログラミングの学習は、オブジェクトをいかに使いこなして、論理的に実行手順 (アルゴリズム) を組み立てて行くことができるかということになります。本講義では、いくつかの「ゲームプログラム」作りを通してこの「アルゴリズム」の組み立て方を学びます。 ・ バックエンド (サーバサイド) でのWeb開発に必要なPHP言語にも言及します。 ・ 本講義で学習する内容は、多くのプログラム言語に共通の概念が含まれており、他言語の習得にも役立ちます。

授業計画表

回	内容
第1回	ビジュアルWebプログラミングを支える技術 (HTML、CSS、JavaScriptの関係)
第2回	HTML5・CSS3の基礎 (HTMLファイル・CSSファイルの作成と実行、開発環境の使い方など)
第3回	プログラミング基礎 (JavaScriptの概要：プログラムの書き方、JavaScriptを構成する要素など)
第4回	// (繰り返しの制御文、変数と演算子、条件判定の制御文など)
第5回	// (配列、関数、その他の制御文)
第6回	イベント処理とオブジェクト操作 (イベント処理：種々のイベントハンドラ、オブジェクトの取得)
第7回	// (GUI要素のイベント処理、一定時間ごとの処理、innerHTMLプロパティ)
第8回	JavaScriptの標準オブジェクト (Math・Date・Stringオブジェクト、ダイアログ、オブジェクトのまとめ)
第9回	HTML要素を動的に操作する (フォーム上のデータの取得と書き換え)
第10回	データ構造とアルゴリズム (データ処理のアルゴリズム：最大を求める・順位付け・度数分布、sortなど)

第11回	// (再帰による閉路の探索、決定木、2分探索木)
第12回	ラケットゲームを作成する(壁の中でボールを移動する、ラケットを移動する、2つを組み合わせる、難易度設定)
第13回	プログラムテクニックを身につける(y、x位置のオブジェクトを取得する、2次元配列に情報を持たせる)
第14回	リバーシゲームの作成(プログラム作成の流れ、盤面を作る、黒い駒を置く、コンピュータに戦略を持たせる)
第15回	演習課題の作成(簡単なゲームを作成する)
第16回	(定期試験)
授業形式	<ul style="list-style-type: none"> ・授業形態は、パソコンを用いた演習形式で行う。講義の節目に理解度確認のための小テストも実施する。 ・学生へのプレゼンテーションの方法は、パワーポイント及び講義録と関連資料を掲載した講義用Webサイトを用いて講義を進める。 ・授業終了前に振り返りシートを記入し、講義のポイントや出来なかった事などを把握し復習へつなげていく。
評価方法	<p>「定期試験(50%)、課題・小テスト(40%)、授業への参加態度(10%)」 「2/3以上の出席がない場合は、単位を認定することができない。」 「遅刻3回で欠席1回とみなす。」</p>
テキスト	<p>【図書名】JavaScriptで始めるプログラミング超入門 【著者名】河西朝雄 【出版社】技術評論社 【価格(税込)】2,574円</p>
テキストISBN番号	ISBN978-4-7741-8970-3 C3055
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロからわかるHTML&CSS超入門HTML5・CSS3対応版(技術評論社) ・3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門(技術評論社) ・HTML5プロフェッショナル認定レベル2対応テキスト&問題集(マイナビ)
オフィスアワー(授業相談)	<ul style="list-style-type: none"> ・メールにて相談に応じます。(メールアドレスは第1週目に提示します。) ・講義後も演習室にて授業相談に応じます。
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基礎知識が必要です。”Webサイト・情報リテラシー”講義を受講済みであることが望ましい。 ・プログラミングはまずコンピュータに親しみ慣れることが重要です。講義用Webサイトを公開しているのでこれを活用し、予習・復習を十分に行ってください。(沢山コードを打ち込み動きを試すこと。) ・また、プログラミングは積み重ねです。ついてこれなくなるので休まないようにしてください。
準備学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・予習:「講義用ホームページを用意しています。これに掲載している関連資料はルビも振っているのです。授業範囲のテキストと合わせて事前に読んでおくこと。」 ・復習:「講義内容を再現してみること、更に応用までできるか確認して下さい。」復習が重要です。振り返りシートを活用し出来なかったこととその原因把握をして解決に結び付けられるよう習慣付けしていきましょう。

[ウインドウを閉じる](#)